

## 【法人概要】

多摩ニュータウン建設に伴い、当時の日本住宅公団が百草団地をつくるとき、団地内に保健所建設用地として土地が確保し、1970年(昭和46年)11月、初代理事長の村山四郎三郎氏が法人『巨玉会』を設立。

1971年(昭和47年)4月、『桜ヶ丘第一保育園』を開設し、多摩市では民間保育園として初めて開園。2013年(平成25年)、園舎の老朽化・待機児童解消の為、現在の土地を多摩市に借りて、新園舎を建設、移転開園。

2003年(平成15年)4月、中野区の野方北保育園の民営化により、『野方さくら保育園』として受託。現在、法人として2園の保育園を運営しています。

## 【施設紹介】

### 桜ヶ丘第一保育園 ～一人一人の心に寄りそう保育を～

開園当初より、0歳児保育を実施し、1988年(昭和63年)からは、産休明け保育を実施。

保育内容は日本の伝統文化を継承するために“わらべうた”等を重視し、乳児は子ども達との関係を重視した“乳児担当制”をとることで、きめ細かい保育を行っています。

また、1996年(平成8年)より3～5歳児の“異年齢保育”を実施し、現在の保育スタイルを確立。

2013年(平成25年)より、子どもの受け入れ定員を116名から16名増やし、現在132名の子ども達が生活をしています。



## 【主な地域活動など】

地域の子育て家庭支援の為、平成25年より一時保育を開始、保育室「にじ」を開設。定員6名が連日定員いっぱい利用。

平成27年度より、一時の枠を利用し“定期利用保育”を2名受けています。

また、移動動物園や育児講座・体験保育、毎年開催されている“さくさくまつり”などには多数の地域の子育て家庭の参加もあり、保育園の役割を期待されていることを実感しているところです。

